



同窓会報

NO.11

平成26年
8月1日発行

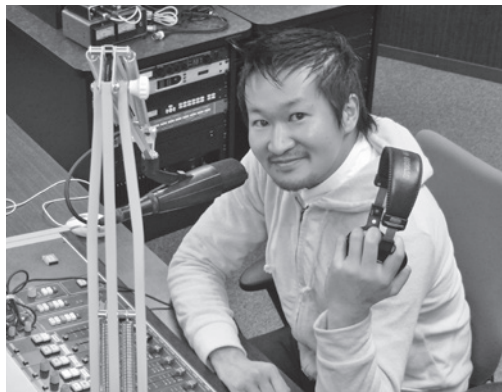
岩手県立一関第二高等学校同窓会

(旧一関高女・旧市立女子高・旧一関二高・旧一関農高)

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 FAX. 0191-25-5432 (職員室) URL. <http://sekinidosokai.com/>

一関コミュニティ FM株式会社(FMあすも)

制作・パーソナリティ **塩 竈 一 常**
(H9年3月普通科卒業)



2012年4月に開局した放送局「FM あすも」パーソナリティです。

一関二高卒業後、東京の専門学校、さらに関西の多くの放送局で経験を積んできました。

「地域に根差した放送を一関に誕生させたい。」その想いを強くしたのは、高校一年の時に目にした阪神淡路大震災の光景と、小さなエリアに情報を届けるため頑張っていた町の小さな放送局。その存在を伝える新聞記事でした。

この時知った放送局に就職して以降、20代のほとんどを、在阪のラジオ局で過ごしました。関西では、多くの都市に存在している「コミュニティFM」という形の放送。それぞれの持ち味や、情報伝達のための工夫、市民の関わり方。飽きることなく知識を吸収し、将来への夢を温めることができた貴重な毎日でした。

2007年に奥州市に立ち上げた「奥州エフエム」。岩手宮城内陸地震と東日本大震災では、これまでの経験を活かす放送ができたと思っています。

情報を伝える手段として優れているツールであ

りたい。ラジオマンとして、その想いを追い求めるのはもちろんですが、地元で育った者だからこそ滲み出る「感覚」「温度」を活かしてこそ、地域ラジオの価値につながる。そう信じてマイクに向かう毎日です。

ラジオの番組づくりは、街づくりにつながるところがあるのではないのでしょうか。まちの宝物とは、そこに住む「ひと」。人々が感じている想いや、ものごとのとらえ方、くらしの経験に基づいた知識。すべてが、このまちに住む人たち共有の財産です。

すてきな宝物に囲まれていることに「気付く」。そんな瞬間が、ラジオを通じて日々ちょっとずつ積み重なっていく。「FM あすも」は、そんなラジオ局です。79.5メガヘルツでお待ちしてます。

新同窓会役員（再任）

役職名	氏 名	卒 業
会 長	槻 山 隆	農高S45卒
副 会 長	鈴 木 信 子	二高S42卒
	千 葉 弘 毅	二高S45卒
	伊 藤 晋	二高S54卒
	石 川 聖 浩	農高S60卒
監 事	阿 部 元 男	二高S42卒
	木 村 孝 男	農高S44卒
	佐 藤 裕 一	二高S53卒

支部役員一覧

役職名	氏 名	卒 業
仙 台 支 部 長	伊 藤 善 雄	二高S42卒
仙台支部事務局長	猪 股 恭 四	二高S48卒
盛 岡 支 部 長	相 原 栄 司	二高S35卒
盛岡支部事務局長	阿 部 俊 雄	二高S42卒
関 東 支 部 長	吉 廣 克 之	二高S34卒
関東支部事務局長	曾 部 篤 治	二高S44卒
千 厩 支 部 長	熊 谷 清 子	高女S20卒
千厩支部事務局長	永 沢 孝 子	高女S24卒



ご 挨拶

同窓会長 梶 山 隆

同窓会会員の皆様には日頃より同窓会の活動にご協力を頂き感謝を申し上げます。

今年度も6月28日(土)に定期総会を開催し、当番幹事の昭和52年3月卒業と昭和62年3月卒業の皆さんのご協力により、多くの参加者が集まり盛大な総会となりました。

又、新入会員の参加もあり、今後の同窓会活動に若い人達の意見も取り入れながら進めて行きたいと考えております。

総会では、事業経過報告・決算報告・来年度事業計画・会計予算などを上程し承認を得、今後の同窓会活動に向けて取り組んで行くこととなりました。

今年の4月には同窓会名簿を更新し、発行致しました。前回から5年目での発行となりましたのは、東日本大震災の影響で転居された方も多いと

いう事情のもと、更新した方が今後のためにも良いという判断により実施致しました。

今、一関二高は107年目を向かえ、110周年に向けての取り組みも考えていく段階となっており、今後学校・PTA・同窓会の三者で協議しながら取り組んでまいりたいと考えております。

同窓会員皆様にもこれからのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、今年度は役員改選の年となり総会に諮った所、今までの役員全員の再選となり私も会長として再度就任することとなりました。

役員一同一丸となり、同窓会の発展に向けて取り組んでいく覚悟でありますので、会員皆様のご指導を宜しくお願いし、挨拶と致します。



伝統の継承に期待する

校 長 佐々木 啓

ある日、山目小から『新校舎建設のため、二高由来の桜を伐採することになりましたので、同窓生の方々にお知らせください。』との連絡があり、旧校舎が山目村向野(現一関市幸町)にあったことを思い出しました。

これを機会に校長室にある年史を読むと、大正15年に竣工した向野校舎は当時には珍しい薄緑色の瀟洒なモダンなものだったこと、大正11年の夏服から県下に先がけて洋服を制服にしたこと、創立50周年事業として建設された独立図書館で県下初の開架式導入計画があったことなどを知りました。常に時代を先取りした二高の歴史が感じられました。

昨年9月、下大桑農場の売買契約が締結されました。売却先は、養鶏業を展開する事業所です。流行のメガソーラーという噂もありましたが、地元に根ざした事業主が落札しました。旧農高時代は、充実した実習環境のおかげで、技能と精神が育まれ、農業クラブ全国大会の常連校や高校生エッセイコンテ

スト全国特選に繋がりました。今後も農業の存在感を示す土地であってほしいと思います。

時代とともに女学校、農業高校、総合学科と変遷し、寂しい思いをしている同窓生の皆さんもいるかもしれません。しかし、昭和40年の向野校舎全焼という逆境を契機として、赤荻の現校舎に発展的環境を求めて移転するなど、二高精神は自律的で強靱です。農高精神も太鼓道場や国際理解に脈々と受け継がれています。統合して10年経ち、両校の伝統の継承者として努力する在校生に期待してください。

昨年の本部・支部総会では、同窓生の皆さんから溢れる思い出を伺い、母校に対する積極的な協力の申し出をいただきました。ぜひ在校生たちも、日本中で二高を誇り語れるような学校生活を送ってほしいと思います。

今後とも、本校教育活動に対し同窓会の皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成26年度総会・懇親会

平成26年度の総会は、6月28日（土）にホテルサンルート一関を会場として開催されました。今年度の総会参加者は69名と例年並みの参加者数でしたが、今年卒業した新会員も多く参加していました。槻山同窓会長はあいさつで「同窓会活動のさらなる盛」と支部の活発な活動を期待したい」と述べ、総会は、今後の活動に期待が持てる雰囲気の中かで進められました。

アトラクションでは本校音楽部による合唱が披露され、校歌はもちろんのこと懐かしい童謡から最近よく耳にする歌など世代を超えて会場は和やかなムードに包まれました。

総会に先立ち本会員の物故者に黙祷が捧げられ、槻山隆会長、佐々木啓校長先生のあいさつ後、議長選出においては慣例により本年の当番幹事より阿部弘さん（昭和52年卒）ならびに石垣尊章さん（昭和62年卒）のお二人が選出され、議事進行が行われました。議案については概ね事務局提案の通

り承認されました。今年度の役員改選に伴い議長より立候補がないか会員に問われましたがなかったため、事務局案が提示され本誌1頁にある通り新役員が満場一致で承認されました。

また、盛岡支部から総会・懇親会の卒業年当番幹事制についてより幅広い年代の参加を促す工夫があった方がよい旨の意見を頂き、基本的に今までの流れは踏襲しつつアイデアを模索してゆくこととしました。今年度の総会には10名を超える新会員の参加者がおり、近年の新会員参加者は多くなっています。また新たに発行された同窓会名簿の活用等により今後の総会開催についてはいろいろな世代の参加が期待できるものと考えます。

最後になりますが総会を通じて各支部事務局においても『同窓会を盛り上げたい』という会長と共通の思いが溢れていると伝わってきました。今後もその思いに支えられながら同窓会のさらなる発展へと繋がって行ければと思います。



議長団



事務局返答中



音楽部のさわやかな歌声

懇親会の様子



今年度卒業の新入会者

伝統芸能
「鶏舞」

笑顔花咲く旧友との懇親

来年当番幹事の昭和63年卒の皆様

総会後、同会場にて懇親会が開催されました。今年度の当番幹事長の菅原文彦さん（昭和52年卒）、副幹事長の石垣尊章さん、沼倉美香さん（共に昭和62年卒）をはじめとし、来賓の皆様、役員や会員を合わせて84名と多数の参加者のもと賑やかに行われました。余興では副幹事長である沼倉さん自らが参加し4名のメンバーで鶏舞を披露され、ステージ上を所狭しと躍動する勇壮な舞で会場を大いに盛り上げていただきました。最後に今年卒業した新会員の参加者10名がステージに上がり、自己紹介ならびに近況を報告すると先輩方から声援が湧きあがり世代間交流の場としてもとても有意義な会になったと感じました。また、来年度の当番幹事である昭和63年卒の参加された方々

が紹介され、来年度の総会・懇親会開催へ向けての第一歩となりました。

本年度も無事、総会並びに懇親会を盛会のうちに終えることができました。当番幹事を務めていただきました皆様には、この場をお借りし事務局から心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

来年度の総会・懇親会は、昭和53年・63年3月卒業の皆様が当番幹事となります。それに伴い、本年度の当番幹事の皆様と、来年度の当番幹事の皆様の引き継ぎ会を9月中旬頃に開催予定です。ご案内いたしますので、多数ご参加いただきますよう併せてご案内申し上げます。

二高52年同期会

昭和52年3月卒 菅 原 教 子

素敵な時間を過ごすことができました…

6月28日土曜日、私は初めて、同窓会総会・懇親会に参加させていただきました。

校長先生からの、一関二高の現状報告や総会での討議等を近くで聞かせて頂いた事、ステージに上がった、平成26年3月卒業生10数名の活き活きとした挨拶を聞き、母校が輝いていることを感じ嬉しく思いました。(ちょっと上からな表現で、すみません。伝えたいことは「母校の様子を知ることができ、総会に参加して良かった」との思いです。)

さて、私の役目です。私は今回「同窓会報執筆係」を頂きました。理由は、クラス幹事の代理で最初の実行委員会に参加したご縁です。高校時代の自分を振り返ると「恥ずかしい3年間」の一言で完了してしまいます。だから、私がこんな大役を受けることさえ、みなさんに申し訳ないのです。でも、ご縁は大切にしなければならぬので書かせていただきます。

同窓会総会・懇親会后、ホテルサンルート一関を会場に、小山常光先生、鈴木公子先生、東郷司先生にご出席頂き、同期生37名の参加で同期会(普通科・土木科)が開催されました。菅野陽子さんの粋な計らいで、胸に卒業アルバムに載っている自分

の写真シールを貼り、気持ちは高校3年生(?)となりました。幹事長の菅原文彦さんのほんわかする、それでいてピリッと締まる挨拶から素敵な時間が流れ始めました。卒業後初めて再会した方、高校時代、話をしたことがなかったのに今の自分を自己開示してしまうほど深く話をしてしまった方、久しぶりの再会で盛り上がった方…等々。あっという間の3時間。鈴木公子先生が「10年後また呼んで頂けたら、今度は踊りを踊ります」と言ってくださいました。拝見したい…と思いました。

それぞれが、高校卒業後、たくさんの出会いやたくさんの出来事を、色々な思いで乗り越えてきたと思います。55歳・56歳になった今、こうして同期生と会い、15歳から18歳の自分に戻った瞬間、まだまだ元気に頑張ろう!もう少し頑張れるかも…と今の自分を確認した瞬間。同期生と一緒に、本当に素敵な時間を過ごすことができました。

素敵な時間を作ってくださった実行委員のみなさまに感謝したいと思います。ありがとうございました。

そして、またいつかお会いできる日のために…みなさま、お体をご自愛ください。



二高62年同期会

仲間、いつまでも

〆今回、当番幹事になっています。ご協力ください、という年賀状が届き、何度かの打ち合わせ、準備等を楽しみながら、お手伝いさせていただきました。同期会では、4名の恩師の先生にご臨席いただき、総勢29名で楽しいひと時を過ごしました。一人ひとりの自己紹介では、当時と今の体重格差がなぜか一番の話題となり（男性陣です）、近況を話したり、高校時代の面影を重ねながら、卒業してからの年月をしみじみ感じた時間でした。

地元を離れた人も数多く、その中でわざわざ駆けつけてくれた人もいました。私は隣県にいますが、今回同期会に出席したことで故郷や母校、恩師の先生、仲間へ寄せる想いが強くなったような気がします。年を重ねたからでしょうか（笑）。

一次会の終わりでは、佐藤基先生、小野寺誠四郎先生、千葉秀雄先生、鈴木淳一先生と肩を組み、皆で二高の校歌を歌いました。教員をしている友のリードで、最後のフレーズ〆第二高校われらあり、ま

昭和62年3月卒 秋 山 仲

で歌い、卒業後20年以上経っていても歌えたことに驚きでしたが、この日一番の感動の瞬間でした。

仕事や子育てに追われ、慌ただしく毎日を過ごしながらも、この日に集まることができたのは家族の協力があつたから。送り出してくれた家族に感謝しながら、楽しい時間は、あっという間に過ぎ、次回又、必ず同期会をしようねと再会を誓い、それぞれ家路につきました。今回参加できなかった方々も次回には会えることを願っております。同窓会・同期会の為に忙しい中、ご尽力くださったスタッフの皆様、楽しい時間をありがとうございました。おかげさまでした。



農高62年同期会



平成26年6月28日に一関第二高等学校の同窓会並びに懇親会が盛大に開催されました。

その後、昭和62年度卒業の旧一関農高同期会を古戦場を会場に午後6時半より開催されました。当日は千葉直利先生、高橋かほる先生、岡本紀己雄先生の3名の先生方をお招きし、当日の懐かしい思い出話に花を咲かせました。前回女性の33歳の歳祝いに顔を合わせた方もいらっしゃいました

昭和62年3月卒 沼 倉 美 香



が卒業後、初めて顔を会わす方もおり〆あの人は誰、だったという声があがり懐かしいアルバムを片手に当時のすがたをかさねあわせておりました。話をしてみれば18歳当時と何も変わらない同級生とのアツという間の楽しい2時間でした。

今回同期会、二次会と多くの方に参加していただき本当に感謝しております。また次回同窓会には今回参加できなかった人とも再会できるのを楽しみにしております。

第14回(平成25年度) 関東支部総会&懇親会開催!

支部会計 齋 藤 峯 子

(昭和41年3月普通卒)

思い出は尽きなく

平成25年度、関東支部の総会が10月5日(土)例年どおり東京大手町サンケイプラザにて開催されました。参加者は54名と昨年より大幅減と少なかったのが残念に思いました。

総会の司会・伊藤裕章事務次長(昭50土卒)から始まり、吉廣克之支部長(昭34土卒)の開会の辞・開会の挨拶、そして同窓会槻山隆会長より、同窓会並びに地域の現状報告がございました。今回は一関市の勝部修市長より開催の祝いメッセージが届き会場は盛り上がりしました。学校長佐々木啓先生の二高の生徒は素直で目標に向かってスポーツ・勉強に励み良い伝統が引き継がれている、今では二高ブランドと言われる良いお話を頂きました。参加者の顔が「だいぶほころんだ、のではないのでしょうか。総会后、記念集合写真撮影でカメラマンになった曾部事務局長(昭44普卒)の「撮りますヨ〜!」の掛け声、また、各年度別の撮影に「早く撮ってけらいん、やら「カッコつけねでっしょ!!」(笑)と、誰かが言って和気あいあいでした。懇親会に入り、関東支部の長老・金子ひで子さん(昭22女卒)に今年の踊りを観まさんと懇親会が盛り上がりません。踊ってます様子はとても今年85歳とは思えない若さがありました。決めポーズが最高でしたよ!

今年もサラリーマン川柳19位にありました



須川節を全員でなごやかに



「同窓会 名前が出ないが盛り上がる」、参加者の中にはそう思う方もいたのでは? 最後に、参加者の方々に「楽しい時間を過した、と言われ大変感謝しております。

抽選会で岩手県特産品や一関産「ひとめぼれ、新米が当たった皆様おめでとうございます。

来年(平成26年)は、関東支部発足15年になりますので「一人がひとりを、に声をかけて近くの方や遠くの方々多くの参加に期待したいものです。ちなみに、サラリーマン川柳第一位は「いい夫婦 今じゃどうでも いい夫婦、マッチ売りの老女作。二高同窓生にはあてはまらない? お粗末でした(笑)

◎関東支部への問い合わせ

電 話 042(923)5496

事務局 曾部迄

今年度の総会のご案内

関東支部 総会・懇親会

◎日時:平成26年9月27日(土)

13:00~(受付12:30~)

◎会場:大手町サンケイプラザ3階

(東京サンケイビル内)

千代田区大手町1-7-2

TEL 03-3273-2258

◎会費:7,000円(当日会場にて承ります)

※平成25・26年3月卒の方は会費無料です。

◎メ切:9月2日(火)まで

◎お問い合せ・その他

042-923-5496 (TEL/FAX)

関東支部事務局長 曾部 篤 治 (S44普卒)

平成25年度仙台支部総会開催について

支部長 伊 藤 善 雄

(昭和42年3月普通卒)

総会開催の前々日から東北地方への大型台風26号の接近による影響が心配されておりましたが、幸いにも大きな被害もなく安堵する中、平成25年度同窓会仙台支部総会・懇親会を開催することが出来ました。

当支部の発足にご尽力を賜り、今日の礎を築き上げて戴きました初代支部長の菅原虎男様（昭和36年卒）の昨年の11月に癌治療など闘病生活後、その甲斐もなく死去されました。

更に、長年初代事務局長としてご活躍戴きました山形元孝様（昭和42年卒）がご病気により本年6月にお亡くなりになりました。謹んで心よりお悔やみ申し上げます。

当支部の今日までの多大なる発展に寄与されましたことに心よりお礼と感謝を申し上げます。

さて、総会には、同窓会本部から千葉、伊藤両副会長及び事務局の槻山様、学校からは小野寺副校長はじめ平成24・25年卒の担任先生並びに事務局の山本様と平成24年・25年卒同窓生のご出席を賜り、和気あいあいの雰囲気の中で開催されました。

会は、はじめに、同窓会の千葉副会長から挨拶を戴き、小野寺副校長先生からは、母校の後輩たちの学校の様子や文武での活躍ぶりについてお話を戴きました。

次に、新役員選出・改選等に関して、本部同窓会等との協議、並びに会員の皆様への総会ご案内の中で戴いた「役員改選に対する意見・要望等」のご意見を、当総会の席上で報告しました。それと共に役員選出方法等については、事務局一任との意向を向け、事務局の提案をご承認戴きました。新たな役員としては、

仙台支部長	伊藤善雄(昭和42年普通卒)
仙台副支部長	菅原盛喜(昭和43年土木卒)
仙台副支部長	猪股恭四(昭和48年普通卒)
(兼事務局長)	



会員から、女性会員の意見も反映すべきとの異議があり、ご本人の同意も戴き

渡辺成子（昭和43年普通卒）に役員をお引き受け戴きました。

休憩後の懇親会は、千葉録郎様の乾杯で始まりしました。新卒の若人とやや高齢会員（気持ちは負けない）の方々が、ゲームの余興等に興じ、負けた方の懺悔等のお話などで和み、笑いの渦が出来たりし打ち解けた中で歓談が進み、テーブルの隅々では会員間での近況報告などが行われ、新卒者の方は先生等を囲み思い出話し等で盛り上がりおりました。

時間も経過し、名残惜しい中、伊藤晃様の指揮により効果を斉唱、笹川恵子様から万歳三唱を戴き、来年もまたこの場に集うことを約束し、盛況の内に散会となりました。

今年度の総会のご案内

仙台支部 総会・懇親会

◎日時：平成26年10月24日(金)
18:30～(受付18:00～)

◎会場：パレスへいあん
仙台市青葉区本町1-2-2
TEL 022-213-1122

◎会費：6,000円(当日会場にて承ります)

※平成25・26年3月卒の方は会費無料です。

◎お問い合わせ・その他

仙台支部副支部長	猪股恭四(S48普卒)
TEL	022-358-7628
仙台支部事務局長	伊藤善雄(S42普卒)
TEL	022-358-7628

平成25年度盛岡支部総会・懇親会開催

支部事務局 阿 部 俊 雄

(昭和42年3月普通卒)

今年度の盛岡支部総会・懇親会は10月19日(土)市内「エスポワールいわて」を会場に開催されました。今までは1か月早い時期に開催しておりましたが、会員の参加を期待してこの時期の開催となりました。その結果支部の願いが通じたのか今までにないくらいの会員の皆さんの参加をいただき盛大に開催することが出来ました。参加された会員の皆様には会報をお借りして感謝申し上げます。

総会に入る前に今まで亡くなられた物故者に対して黙祷を捧げてから総会が始まりました。支部長挨拶から始まって槻山同窓会長からは支部活動に感謝の言葉をいただき、そして佐々木校長からは現在の生徒の活動状況をお話ししていただきました。その後議事に移り前年度の経過報告・決算、今年度の事業計画・予算を承認いただきました。

総会終了後懇親会に入りました。懇親会では世代(昭和21年卒から平成24年卒まで)を超えて参加者が和気藹々とした雰囲気で行いました。懇親会の途中、被災地で作られた景品を用意して抽選会も行いました。参加者全員に当たらなかったのですが、被災地のことを思いながら使っていただければと思っています。その後カラオケで大いに盛り上がりまして時間をオーバーして行いましたが、歌えなかった方が出ま



したことを申し訳なく思っております。歌えなかった方は是非26年度の懇親会に参加されて歌ってほしいと願っております。今年は24年度卒業の若い方々にも参加をいただきましたので今まで以上に盛り上がったと思っております。参加を指導していただいた同窓会の事務局の先生には深く感謝申し上げますとともに今後ともよろしくお願いします。

最後に同窓会は幅広い年代が会員となっておりますので、なかなか参加しにくいですが、高校時代のお友達との再会、またクラブ活動で汗を流した仲間との再会等の機会として活用していただければと思っています。そのために私達盛岡支部の役員はそのお手伝いを致しますので、いつでも連絡をいただければと思っています。どんなことでもよろしいので連絡を。



盛岡在住の若い会員と担任の先生

今年度の総会のご案内

盛岡支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成26年10月18日(土)
12:00～(受付11:30～)
- ◎会場：エスポワールいわて
盛岡市中央通1丁目1-38
TEL 019-623-6251
- ◎会費：4,000円(当日会場にて承ります)
※平成25・26年3月卒の方は会費無料です。
- ◎お問い合わせ・その他
TEL 019-635-1592
盛岡支部事務局長 阿 部 俊 雄 (S42普卒)

同窓会入会式の様子



会長から記念品贈呈



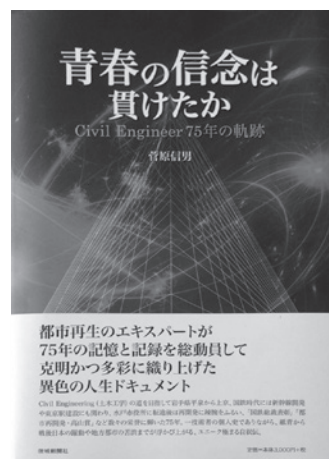
代表謝辞



同窓生執筆書籍の紹介

このたび、昭和32年3月土木科卒同窓生菅原信男氏著書『青春の信念は貫けたか Civil Engineer 75年の軌跡』が茨城新聞社より発行されました。同氏においては各種新聞等でも取り上げられておりますので本書発行について既にご存じの方々も多いと思います。同氏は一関二高土木科を卒業後、土木工学の道を目指して生まれ故郷の平泉より上京、国鉄時代には新幹線開発や東京駅建設にも関わり、水戸市役所に転進後は再開発に辣腕をふるうなど都市再生のエキスパートとして75年にわたり活躍されてこられました。本書はそんな同氏の歩んできた様々な人生経験を通じて語られる自叙伝となっております。是非ご一読ください。

この著書に関する問い合わせは下記までお願いいたします。



購入先

茨城新聞社 TEL 029-239-3008 FAX 029-301-0361 URL <http://www.ibaraki-np.co.jp>
 [一関地区] ・北上書房 TEL 019-123-4088
 ・イオン一関店内 宮脇書店 TEL 019-131-3377
 ・菅原勝保宅(平泉町) TEL/FAX 019-146-2154
 ※全国書店、お近くの書店で申し込みの場合は、本書の到着まで約3週間となります。

卒業生の進路 (合格者数)

平成26年3月31日現在

平成26年3月 卒業生進路別合格者(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	15	119	7
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	26	40	46
就 職	公務員	一般企業	福祉関係
	9	32	7

《進学》

〔国公立大学〕

岩手大学(4)、弘前大学(1)、山形大学(1)、岩手県立大学(6)、釧路公立大学(1)、青森県立保健大学(1)、名桜大学(1)

〔私立大学〕

石巻専修大学(4)、岩手医科大学(3)、江戸川大学(2)、関東学院大学(6)、国士舘大学(1)、駒澤大学(1)、埼玉医科大学(1)、埼玉工業大学(4)、札幌学院大学(1)、札幌国際大学(2)、淑徳大学(1)、尚絅学院大学(5)、駿河台大学(1)、専修大学(1)、仙台白百合大女子大学(1)、仙台大学(3)、大東文化大学(1)、高崎商科大学(1)、千葉科学大学(1)、千葉経済大学(1)、中京大学(1)、中部大学(1)、鶴見大学(2)、帝京大学(3)、東海大学(2)、東京福祉大学(1)、東北学院大学(13)、東北福祉大学(5)、東北文化学園大学(10)、東北薬科大学(1)、東洋大学(1)、八戸工業大学(6)、東都医療大学(1)、弘前医療福祉大学(1)、藤女子大学(1)、富士大学(5)、別府大学(1)、宮城学院女子大学(2)、盛岡大学(10)、横浜商科大学(1)、立正大学(3)、流通経済大学(3)、日本女子体育大学(1)、日本大学(3)

〔国公立短期大学〕

会津大学短期大学部(2)、岩手県立大学宮古短期大学(1)、岩手県立大学盛岡短期大学部(2)、山形県立米沢女子短期大学(1)、大月短期大学(1)

〔私立短期大学〕

修紅短期大学(7)、国学院大学栃木短期大学部(1)、聖和学園短期大学(5)、仙台青葉学院短期大学(2)、千葉経済大学短期大学部(1)、つくば国際短期大学(1)、東京交通短期大学(1)、東京農業大学短期大学部(2)、東北生活文科大学短期大学部(2)、東北文教大学短期大学部(1)、盛岡大学短期大学部(3)

〔看護・医療系専門学校〕

あじさい看護福祉専門学校(1)、いわき市立磐城共立高等看護学院(1)、岩手県立一関高等看護学院(8)、岩手リハビリテーション学院(3)、太田看護専門学校(1)、小田原看護専門学校(1)、亀田医療技術専門学校(1)、君津中央病院付属看護専門学校(1)、さいたま赤十字看護専門学校(1)、仁愛看護福祉専門学校(1)、聖マリアンナ医科大学看護専門学校(1)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1)、仙台リハビリテーション専門学校(1)、東北保健医療専門学校(1)、花巻高等看護専門学校(4)、東名古屋病院リハビリテーション学院(1)、福島看護専門学校(1)、水沢学苑看護

専門学校(5)、毛呂病院看護専門学校(1)、横浜市病院協会看護専門学校(1)、横浜中央看護専門学校(1)、宮城高等歯科衛生士学院(1)、一関市医師会附属一関看護高等専修学校(2)

〔専門学校〕

SENDAI中央理容美容専門学校(2)、岩手県立産業技術短期大学校(1)、岩手県立農業大学校(1)、上野法律ビジネス専門学校(1)、北上コンピュータアカデミー(1)、国際マルチビジネス専門学校(1)、専修大学北上福祉専門学校(2)、仙台医療秘書福祉専門学校(1)、仙台工科専門学校(1)、仙台子ども専門学校(1)、仙台コミュニケーションアート専門学校(2)、仙台総合ビジネス公務員専門学校(3)、仙台デザイン専門学校(1)、専門学校花壇自動車大学校(1)、専門学校デジタルアーツ仙台(1)、東京IT会計専門学校仙台校(1)、東京観光専門学校(1)、東京法律専門学校仙台校(2)、東北職業能力開発大学校(2)、東北文化学園専門学校(1)、日本工学院八王子専門学校(1)、ファッション芸術専門学校ドレミ(1)、宮城調理製菓専門学校(2)、宮城文化服装専門学校(1)、盛岡医療福祉専門学校(1)、盛岡調理師専門学校(1)、盛岡ヘアメイク専門学校(2)、仙台デザイン専門学校(1)、仙台医療福祉専門学校(2)、仙台保健福祉専門学校(1)、中央情報経理専門学校 ビジネス学科(1)、東北ヘアモード学院(1)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(3)、北日本ヘア・スタイリストカレッジ(1)

《就職》

〔公務員〕

岩手県警(1)、宮城県警(1)、岩手県職員Ⅲ種(1)、国家公務員一般職(1)、自衛隊(5)

〔一般企業〕

株式会社柴宿ファッション(1)、常磐パッケージ株式会社(1)、株式会社マリアーヂュ(1)、有限会社千葉恵製菓(1)、有限会社二興(1)、株式会社ジョン(1)、一関信用金庫(1)、株式会社パティズ(1)、日産部品岩手販売株式会社(1)、株式会社 ヒピス岩手(1)、世嬉ノ一酒造株式会社(1)、株式会社 門崎(1)、ヒロフーズ株式会社(1)、株式会社斎藤松月堂(1)、丸進工業株式会社 一関工場(1)、株式会社平泉観光レストセンター(1)、四季彩の宿ふる里(1)、東日本旅客鉄道株式会社(1)、株式会社デジアイズ(1)、株式会社大沢温泉(1)、花巻温泉株式会社(1)、株式会社プラザ企画(1)、株式会社瑞光 四季亭(1)、東京急行電鉄株式会社鉄道事業本部(1)、株式会社仙台北辰(1)、東武ステーションサービス株式会社(1)、株式会社メディカルさくら(1)、株式会社三徳(1)、日本レストランシステム株式会社(1)、株式会社豊里(1)、一般財団法人空港保安事業センター(1)、敷島パン株式会社(1)

〔福祉関係〕

社会福祉法人つくし会(1)、社会福祉法人衣川会(1)、社会福祉法人椿の里(1)、社会福祉法人あそか会(1)、医療法人秀峰会(1)、社会福祉法人聖明福祉協会(1)、医療法人社団三和会(1)

活躍する在校生への支援

26年度岩手県高校総合体育大会においてフェンシング団体がアベック優勝、女子は25連覇、そしてインターハイに出場します。卓球女子団体は決勝進出し東北大会出場、陸上個人砲丸投げでは菊池樹君がインターハイに出場します。水泳では千葉龍成君と、那須瑛吾君が東北大会に出場しました。同窓会では東北大会出場・全国大会出場の個人・団体へ部活動助成金の中から支援しています。

編集委員会より

活躍する同窓生の情報提供のお願い

編集委員会では、活躍する卒業生の姿を紹介しております。年に一度発行される同窓会報のほか、ホームページ等でも紹介しています。情報をお持ちの同窓会員の方はご提供をよろしくお願いいたします。

(職員室 事務局 川向 吉田)

E-mail info@sekinidosokai.com
ホームページ http://sekinidosokai.com
TEL 0191-25-2242
FAX 0191-25-5432

平成26年度一関二高同窓会年間行事計画

平成26年

4月 8日(火)	入 学 式
9日(水)	同窓会会計監査(本校)
22日(火)	同窓会第1回常任理事会(本校)
28日(月)	同窓会総会・懇親会 第2回当番幹事打ち合わせ会(山目公民館)
5月15日(木)	開校記念日
22日(木)	同窓会総会・懇親会 第3回当番幹事打ち合わせ会(山目公民館)
28日(水)	同窓会理事会(本校)
6月18日(水)	同窓会総会・懇親会第4回当番幹事打ち合わせ会(本校)
28日(土)	同窓会総会・懇親会 (ホテルサンルート一関) 当番幹事 昭和52年・62年3月卒
8月上旬	同窓会報No11発行
8月30日(土)～ 31日(日)	二 高 祭
9月中旬	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会 (ホテルサンルート一関) H26年度当番幹事 昭和52年・62年3月卒 H27年度当番幹事 昭和53年・63年3月卒
9月27日(土)	同窓会関東支部総会・懇親会 (大手町サンケイプラザ)
10月18日(土)	同窓会盛岡支部総会・懇親会 (エスポワールいわて)
10月24日(金)	同窓会仙台支部総会・懇親会 (パレス平安)

平成27年

2月上旬	同窓会常任理事会(本校)
3月1日(日)	同窓会表彰・入会式
2日(月)	卒 業 式
6月27日(土)	同窓会総会・懇親会

平成27年度

総会・懇親会のご案内

日 時 平成27年6月27日(土)

午後2時～

場 所 ホテルサンルート一関 (予定)

当番幹事 S53年3月卒 S63年3月卒

編集後記

様々な事象が荒ぶっているように感じています。数百年ぶりの巨大地震、観測史上稀にみる台風や竜巻、記録的短時間降雨、最高気温の更新など。そして、人の心も環境の激変に合わせるかのように荒んでいる様に思えてなりません。

一方、同窓会は穏やかに変わって来ている印象です。各支部長さんのご協力の賜でもあり、支部総会に若い方の参加が増えているようです。情報や機器が溢れる中で、人間同士の直接の情報交換の大切さを、若い感性が鋭く感じ取っているからではないでしょうか。

同窓会報も情報交換のひとつとして上手に活用して欲しいものです。今回は水戸市在住の菅原さんにご登場いただきましたが、ご活躍の同窓生はまだまだ居られると思います。上記の窓口まで情報をお寄せくださいますようお願いいたします。

編集委員

編集委員長	佐 藤 公 基
副編集委員長	須 藤 光 子
編 集 委 員	菅 原 隆 幸
〃	槻 山 隆 幸
〃	佐 伯 幸 雄
〃	吉 田 一 博
〃	川 向 幸 子